



総合教育センターだより

Be Connected



センターマスコット センタ君

平成25年10月16日(水)
第55号(通算第138号)
京都府総合教育センター
TEL: 075-612-3266

平成25年度

親子おもしろ科学実験教室



9月14日(土) 総合教育センター北部研修所

高校生が大活躍

実験・観察を通して子どもたちが科学への興味関心を高め、理科学習の動機付けとすることをねらいに毎年開催しているこのイベントも14回目を迎えました。今年もたくさんの参加者(小学生93名、保護者77名の計170名)があり、科学のステージショーやロボットショー、いろいろな体験ブースを通して科学と触れあうことができました。



化石のレプリカづくりに挑戦



ロボットの動きにみんなワクワク(府立工業高校によるロボットショー)



海の生き物に触ったよ。



化石を発見できるかな。(化石探し)

感想

<子ども>

予想以上に面白かったので、理科の勉強に興味が出てきました。

<保護者>

とても楽しいひとときを過ごせました。目を輝かせている息子を見て嬉しかったです。来て良かったです。高校生の対応も非常に気持ちよかったです。



多くの方々に御協力いただきました。

<高校生>

府立工業高校、嵯峨野高校、亀岡高校、福知山高校、宮津高校、西舞鶴高校、東舞鶴高校の49名の高校生の皆さんに科学実験の補助や科学のしくみの説明などボランティアで御協力いただきました。

<専門機関、先生方>

京都大学総合博物館による化石のレプリカづくりの体験、綾部市天文館パオによるプラネタリウム鑑賞、株式会社ナリカによる理科教材の体験、府内の小学校・中学校・高等学校の22名の先生方による各体験の部屋の運営や参加者へのサポートなど、多くの御協力をいただきました。



電車を駅で止めるにはどれくらいハンドルを回して電気を起こせばいいのかな?



空き缶つぶし体験



ホバークラフト体験



モーター作りに挑戦

講座報告



「京の子どもを守る」講座

9月30日(月) 総合教育センター
兵庫県立大学 木村 玲欧 准教授

講義・演習と綾部市立上林中学校の実践発表を通して、学校における危機管理意識の向上を図るとともに防災教育・防災管理の在り方を学びました。

感想 「その場しのぎでは対応できない」という言葉が心に残りました。災害について、教師が率先して「わがこと意識」をもって考え、常日頃から正しい知識を子どもたちに提供し、意識をもたせることの大切さを学びました。



特別支援教育〈発展〉

「新版K式発達検査2001活用」講座 -発達検査を活用したアセスメント-

(大学連携) 9月10日(火) 京都学園大学

京都学園大学 川畑 隆 教授

アセスメントの在り方を学ぶとともに、新版K式発達検査2001を活用した総合的なアセスメント力を学びました。

感想 事例検討では、検査結果のデータの読み取り、検査を通して見える子どもの姿について検討を深める中で、「検査を読むのではなく、検査を通してその子を読む」ことの大切さについて学ぶことができました。



教育相談〈上級〉講座

I - 発達的な課題がうかがわれる事例の理解と対応 - [領域①]

9月18日(水)
総合教育センター

島根大学 岩宮 恵子 教授

近年、発達障害と診断されたり疑われたりするケースがなぜ急増しているのか。その要因は何か。またなぜ人間関係が希薄化しているのかといったことについて学びました。



感想 発達的な課題がうかがわれる子ども達の「見立て」について講義と事例研究から理解することができました。

II - 心と体をつなぐ精神医学からの理解： 自傷行為・依存をめぐって - [領域②]

10月1日(火)
総合教育センター

京都教育大学 森 孝宏 教授

自傷行為やネット依存、ゲーム依存等子どもにみられる「やめられない・とまらない」心はどこから生じるのか、またその具体的対処方法を事例研究から詳しく学びました。

感想 自傷・依存に悩む子ども理解や対応を実際にどのようにすればよいのか、具体的にわかりました。

お知らせ



研修講座の企画を募集 受けてみたい、こんな講座

次年度の研修講座として皆さんの「受けてみたい講座」を実現していきます。ぜひ、興味ある企画をメールでお寄せください。

【応募締切】 11月11日(月)

【発表】 11月下旬

※お知らせについての詳しい内容は、センターHPに掲載していますので、ご覧ください。

手作り府民講座

ワクワクおもしろ学び教室

日時：平成25年12月21日(土)
午後1時~同4時

場所：京都府総合教育センター

総合教育センターでは京都府内の小学校及び特別支援学校小学部の児童及びその保護者を対象に、「実習・体験」等を通して、学びと気付きを深め、知的好奇心をより一層高めてもらえるよう、手作り府民講座を開催します。

これは使える！

~センターホームページコンテンツ紹介~

小学校理科観察・実験マニュアル

子どもは観察・実験によって再現される現象に目を輝かせ、そこで見つけた課題を解決するための方法を考え、実際にやってみる過程で学ぶ喜びを感じていきます。そのような学びの方策を具体的に紹介しています。

総合教育センタートップページ>京育ナビ 北部研修所

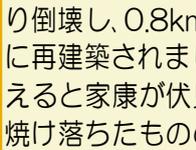


コンテンツ 授業づくりに役立つコンテンツ>小学校理科



ぶらい歴史散歩

伏見城



伏見城は1592年に秀吉が宇治川を臨む「指月の岡」(今の観月橋の北東)に別荘を建てたことに始まります。秀頼の誕生で本格的な城に改築されましたが大地震により倒壊し、0.8kmほど北東の木幡山(今の明治天皇陵の地)に再建築されました。1598年8月、秀吉がこの城で生涯を終えると家康が伏見城に入りました。関ヶ原の戦いで天守閣は焼け落ちたものの家康は城を改築するとともに、伏見の町を整備しました。三代将軍家光の時、伏見城は廃城になり、その後この地一帯に桃の木が植えられたことから桃山と呼ばれるようになりました。伏見城の名残をとどめる城石は御香宮神社、明治天皇陵の参道その他、総合教育センター玄関池にも見られます。